

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市水島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 藤澤 徳久
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は、「利用者にあった適切な支援の実施状況について」を重視して評価した。</p> <p>利用者に対する適切な支援を行うため、利用者のニーズ把握に努め、関係機関と連携し、個々の利用者にあったサービスの提供を行った点は評価できる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、屋外でのイベントの実施や、人数・時間を絞ったのサロン活動の実施など、感染症対策を踏まえた事業を行うための工夫を行っている点も評価できる。</p>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者は新型コロナウイルス感染症の影響からは少し持ち直してきたが、相談対応件数はまだ伸び悩みとなっている。中でも、障がい者（児）及びその家族等が抱える不安軽減や情緒安定を図るため、福祉サービスの調整、個々のニーズの把握により関係機関との連携を図った。 ・地域交流を目的とする「はばたきふれあい祭り」開催を実行委員会に諮ったが、例年、開催日が早いこともあり、新型コロナ感染症拡大を懸念する意見が多く、今年度も中止とした。 ・新型コロナ感染症拡大防止の観点から検温・マスク着用・手指消毒等を徹底し、センターを媒介とした感染者を出すことは無かった。少人数の絵画教室や時間制限による「ひとりカラオケ」、屋外での初詣や花見のお散歩会等できることを実施した。 ・センターの企画運営で利用者が主体的に参加協議する定例会を毎月開催し、ニーズにより行事实施や運営改善等に努めた。 ・ZOOM研修を積極的に利用し、職員の質の向上に努めた。 ・年々増える利用者の介護保険移行を考慮し、ケアマネ交流会の実施や情報共有に努めた。 	

(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・95%以上の利用者がセンター管理運営や職員の応対等におおむね満足しているとの回答であった。 ・みんなで歌うわいわいカラオケ、バーベキューやバス旅行の再開を要望する声が多く寄せられた。コロナ禍で出来なかった行事の再開を望まれている。 ・アンケート結果については別紙のとおり。
----------------	---

3 施設の利用状況

	今年度				
	今年度	前年度	特記事項（前年比）		
(1) 利用実績	施設利用者	11,124 人	10,633 人	105%	
	相談支援	面接相談	2,706 件	3,547 件	76%
		電話相談	3,021 件	3,246 件	93%
		家庭訪問	353 件	400 件	88%
		同行	109 件	103 件	106%
		ケア会議	101 件	122 件	83%
	相談支援合計	6,290 件	7,418 件	85%	
(2) 事業の内容	(1) 日常生活支援 (2) 在宅福祉サービスの利用援助 (3) 相談・情報提供 (4) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業 (5) 地域交流・啓発活動 (6) 障がい者及びその家族等の地域生活の支援				

4 収支（児島）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	37,227 千円		
	市からの指定管理料（委託料）	35,565 千円		
	利用料金	1,499 千円		
	その他の収入	163 千円		
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	35,773 千円		
	主な支出	人件費	24,970 千円	
		光熱水費	2,682 千円	
		修繕料	455 千円	
		備品購入費	0 千円	
		消耗品費	553 千円	
		施設管理委託費	650 千円	
		その他経費	6,463 千円	